

まちのわだい



大正生まれの電車「ED 31」



身近なできごとや旬の話題を、
企画振興課秘書広報担当(役場 1 階) (☎②6550)まで
お知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!



▲日野駅前には顔出し看板とホイノボリで彩られ、
特産品の販売をされました

華やかさと活気を駅前に

日野駅前通り共栄会 60 周年

このたび、日野駅前通り共栄会が 60 周年を迎えられました。10 月 1 日(木)からは、日野駅構内にホイノボリを飾られ、駅前には天秤坊やの顔出し看板を設置されました。

10 月 18 日(日)には「今日は一日共栄会」と題し、さまざまなイベントを開催されました。日野駅には大正生まれの電車「ED 31」を展示。日野駅前では、ひの菜ちゃんなど、特産品の販売が行われ、観光客の方も立ち止まっておられました。また、内池西会議所では、マグロの解体ショーや松茸の販売なども行われ、大にぎわいの一日となりました。



▶選択クイズでは、元気良く手が
上がりました



▶二方向に分かれて、ごみ拾いを
されました【日野川ダム】

まちをいつも美しく

シルバー環境美化の日

10 月 21 日(水)、日野町シルバー人材センターの皆さん 13 1 名が、日野川ダム、蔵王ダム、役場周辺の 3 か所に分かれ、清掃作業をされました。

県下一斉「シルバー環境美化の日」のこの日、3 か所合わせて 119 袋のごみを集められました。日頃から清掃活動をしていてくださる所でも、空き缶などのポイ捨てのごみが見つかりました。清掃に参加していただきました皆さん、ありがとうございます。



必佐小の歴史を振り返り祝う

130 周年記念集会を開催

10 月 23 日(金)、必佐小学校で「130 周年記念集会」が開催されました。

創立 130 周年を祝おうと、全校生徒と保護者の方々などが体育館に集まり、6 年生の子どもたちが、必佐小学校の教員であった植物学者・故橋本忠太郎氏や芋競べ祭り、学校の植物などに関する発表を行いました。発表の中では選択クイズも行われ、正解した子どもたちからは歓声が上がりました。

今までの歴史を振り返るとともに、これからの学校の歴史を刻む集会となりました。



▼日野菜とベーコンの特製スープ麺や、日野菜の天ぷら、煮物など、7品の新作料理が紹介されました



日野菜漬けの競演

日野町日野菜漬けコンクールを開催

10月31日(土)、鎌掛地区文化祭で恒例となっている「日野町日野菜漬けコンクール」が開催されました。

日野菜・日野菜漬けをPRするために開催されたこのコンクール。当日は、32名の方が出品され、53品もの日野菜漬けが勢ぞろいしました。伝統的な日野菜漬けから、間引き菜を活用したものや、みょうがやしそ、フルーツなどと一緒に漬け込んだものなど、趣向を凝らした作品が出品されました。

特別審査員でもある大津プリンスホテルの北野和食料理長が、日野菜を使った新作料理を展示。参加者の皆さんは、興味深く新作料理の説明を聞かれています。



▲53作品を一つずつ試食され、厳正なる審査が行われました



▶力強く発表された後、壇上に上がる発表者の皆さん



▶頭をかかえ、200問に取り組む受験者の皆さん

わたむき博士が続々と誕生！

第2回わたむき検定

11月7日(土)、西大路公民館で「第2回わたむき検定」が行われ、28名が受験されました。

2回目を迎える今回は、検定に向けて5回の「わたむき講座」が開催されており、試験開始前には、講座で学んだことを復習している方もおられました。

日野に関する問題200問に挑戦され、180点以上のわたむき博士が17名、160点以上の准博士が2名誕生しました。受験された方は、「自分の生活に関わること以外は難しい」と、歴史の奥深さを感じておられました。

子どもたちが思いを伝える

日野町青少年意見発表大会

11月8日(日)、町民会館わたむきホールで、「日野町青少年意見発表大会」が心ふれあう福祉のつとめの中で開催されました。各小学校の6年生と日野中学生、日野高校生合わせて10名が発表されました。

リサイクル、介護、地域のことなど、自分の体験を通して家族や地域、世界に視野を広げた意見を、力強く発表されました。

司会は、滋賀県総合文化祭アノウンス部門で優勝された日野高校2年生の山本祥輝さんが務められました。

青少年の皆さんが堂々と自分たちの思いを発表された姿に、聴衆の皆さんも感動されていました。